

令和5年12月度運営委員会記録

1. 下記事項について、岩崎代表から拠点LEADER研修講座などで得られた知見なども加味して紹介・共有
 - ・ナルク定款第4条、目的。第6条、介助補助事業事業
 - ・ナルクの収益事業、本部、箕面を含む15拠点の収益事業実施状況、
2. 預託、奉仕などの点数について検討の件
 - ・ボランティアのお試しは「サポート体験」と用語を統一
3. ナルク箕面現状の課題
 - ・1. 入会者を増やす。2. 活動会員を増やす。
4. 紅葉の里担当者交替依頼の件
 - ・コーディネーターが穴埋めに月8~10回入る必要が出る月あり。
 - ・本件、ニチイ関連も似た課題:Excelができる要員育成の要あり。
5. 一般向け「認知症予防セミナー」2月29日開催、ポスター承認。
6. 広報10月運営委員会から引き続きの課題 報告(12月運営委員会で継続検討事項)
 - (1)紅葉便り、1月号から1団体1行事の掲載となるため、どう対応していくかどれを記載するか?
 - ・市役所担当者との対話経過報告 事例:「もみじだより」2024年1月:健幸体操・うたごえ広場参照
 - ・2月号:健幸体操2月29日セミナー掲載する。
 - (2)緊急連絡先の共有について詳細説明
 - ・稲井委員のサンプル回覧 原本のデザイン:岩崎代表に依頼する。
7. 本部主催:発展プロジェクトについて情報共有・13頁に及ぶ答申書を次の3項に要約
 1. 事業の名称:地域とナルクの連携の深化
 2. 事業の意義:(1)なぜ地域との連携なのか
 - ① ナルクの存在価値を高め、その地域に無くてはならない存在になる。
 - ② 後世代との交流を通じ目標・憧れとなる存在になる。
 - ③ 自己肯定感の高揚を得る。
 3. 事業の内容
 - (1)本部の施策 (2)拠点の取り組み (3)一人一人の行動と考え方
8. 広報よりブロック会開催記事の要請:会報1月号、または、2月号に収載予定。
9. 高齢者疑似体験
 - ・第六中学校1年生の体験感想文と今年度の開催予定。
10. その他
 - ・ラジオ体操:3月一杯でとりやめる。市スポーツ課に出向いてやめる時期を相談する。
 - ・マスコットキャラクター:稲富さんが作成中